【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和7年6月17日(2025.6.17)

【国際公開番号】WO2025/013314
【出願番号】特願2024-544973(P2024-544973)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｆ　2/54(2006.01)
Ｂ４１Ｍ　1/30(2006.01)
Ｃ０９Ｄ 11/101(2014.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｆ　2/54
Ｂ４１Ｍ　1/30　　Ｄ
Ｃ０９Ｄ 11/101

【手続補正書】
【提出日】令和6年10月3日(2024.10.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
重量平均分子量５，０００～５０，０００の樹脂（Ａ）と、重量平均分子量が７００～３，０００であり、かつ、（メタ）アクリロイル基１つあたりの重量平均分子量が１００～３００である（メタ）アクリレート化合物（Ｂ）と、顔料（Ｃ）とを含み、組成物全質量を基準として、重量平均分子量が５００未満の（メタ）アクリレート化合物の含有量が２５質量％以下である、電子線硬化型組成物。
【請求項２】
組成物全質量中の前記樹脂（Ａ）の含有量（質量％）に対する、組成物全質量中の前記（メタ）アクリレート化合物（Ｂ）の含有量（質量％）の比が、０．５～８．０である、請求項１に記載の電子線硬化型組成物。
【請求項３】
前記樹脂（Ａ）が、ロジン変性樹脂、ジアリルフタレート樹脂、ポリエステル樹脂、及び、ウレタン（メタ）アクリレート樹脂からなる群より選ばれる１種以上を含む、請求項１に記載の電子線硬化型組成物。
【請求項４】
前記（メタ）アクリレート化合物（Ｂ）が、アミン変性（メタ）アクリレートを含む、請求項１に記載の電子線硬化型組成物。
【請求項５】
前記（メタ）アクリレート化合物（Ｂ）が、ポリエステル（メタ）アクリレートを含む、請求項１に記載の電子線硬化型組成物。
【請求項６】
前記樹脂（Ａ）と、前記（メタ）アクリレート化合物（Ｂ）と、前記顔料（Ｃ）との合計含有量が、組成物全質量に対し、６０～９０質量％である、請求項１に記載の電子線硬化型組成物。
【請求項７】
光重合開始剤を実質的に含まない、請求項１に記載の電子線硬化型組成物。
【請求項８】

有機溶剤を実質的に含まない、請求項１に記載の電子線硬化型組成物。
【請求項９】
ポリテトラフルオロエチレンワックスを実質的に含まない、請求項１に記載の電子線硬化型組成物。
【請求項１０】
基材上に、請求項１～９いずれかに記載の電子線硬化型組成物の硬化物を有することを特徴とする、積層体。
【請求項１１】
前記基材が、フィルム又は紙である、請求項１０に記載の積層体。
【請求項１２】
基材上に、請求項１～９いずれかに記載の電子線硬化型組成物を塗布して塗膜を形成すること、前記塗膜に加速電圧４０～１２０ｋＶかつ照射線量１０～６０ｋＧｙの条件で電子線を照射することを含む、請求項１０に記載の積層体の製造方法。